

日本共産党 岡山市議会議員

林じゅんニユース



2021年1月31日
No.50

日本共産党岡山市議団
岡山市北区大供 1-1-1
tel 086-803-1707
fax 086-234-9388

林じゅん



新型コロナウイルスと

教育分野で質問

林じゅん議員は、11月議会で①新型コロナウイルス感染症の検査の拡大と暮らし・学生の支援、②学校給食センター大規模化の問題、③後楽館中学校・高等学校の教育環境について、個人質問を行いました。

新型コロナウイルスの社会的検査を

林議員は無症状の新型コロナウイルス感染者を把握できるように検査の範囲を広げることが求めましたが、市は市中に感染が蔓延しているとは考えておらず、症状が出た人と接触者の検査に止まっています。

引き続き、感染が拡大すると重大事になる医療機関、



議席にもアクリル板が設置されました

介護施設、学校等での社会的検査も求めています。

コロナ禍の学生

コロナ禍は学生の学びと生活にも影を落とされています。

世帯の減収や、学生本人のアルバイトが減るなどの経済的な課題やキャンパスに立ち入ることができず期待していた学びができない、友人をつくれなといった問題が起きています。林議員は、市内の学生が



市民が食料品などを提供する取り組みも行われています

ら聞いているアルバイト減やオンライン授業のための負担増などの声を取り上げ、市が学生の状況を把握しているかを尋ねました。市は大学や学生から聞き取りをしているとしつつ「生活に困っている深刻な状況はみられない」との答弁で

した。

岡山大学では大学がアンケートを行い、私費留学生在が困っていることを把握して、教職員が食料品等を支援しました。OBに支援の要請も行われています。

大学生協連の調査でも収入減で困っている実態がまとめられています。

実態把握と支援を

市も山陽学園大学で同窓会が援助して格安ランチを提供する取り組みをしたのは把握していました。しかし、学生の状況を把握するための新たな調査はしない、独自の支援策も何もしない、という態度でした。

「岡山市で学んでよかった」と思える街にすることは市を担う若者を育てることになるはずですが。

引き続き、岡山市で暮らす若者をしっかり支援する市政への転換を求めています。

お知らせ

スプレー缶の出し方が変わります

2021年4月から、使用済みのスプレー缶は穴を開けずに回収に出すようになります。

市民の穴開けによる事故を防止するためです。

詳しくは新しい『どーすりゃええ？ [ごみ減量・リサイクルガイド]』が配付される予定です。



穴あけが不要になります